

令和6年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書(概要版)

令和6年8月
教育部教育総務課

1 取組の概要

【報告書】参照
P4~12

- 実施日** 令和6年4月27日(土) 午前8時45分から午後1時15分頃まで
(学校教育活動:午前8時45分から午後0時頃, 市統一テーマ訓練:午前9時45分から午後1時15分頃まで)
- 実施場所** 市立全小・中学校(28校), 大町スポーツ施設(市統一テーマ訓練のみ)
- 当日のタイムスケジュール(※詳細は各学校で異なる。)**

時間	学校教育活動(小学校例)	市統一テーマ訓練「避難所開設訓練」
8:45	1校時 防災啓発講話(保護者・地域へ公開)	
9:30		
9:45	2校時 「命」の授業(保護者・地域へ公開)	9:45 市職員・地域の方集合 ・一日の流れの確認
10:30		避難所開設訓練 ・避難スペース設置, 避難所受付準備 ・避難所体験の準備 等
10:45	3校時 安全指導 11:00 防災 避難訓練・引取訓練 ・校庭への避難 ・講評(校長・副校長) ・保護者による引取	
11:00		
11:20	下校 避難所体験 (小6児童・中3生徒とその保護者)	避難所体験 ・小6児童, 中3生徒とその保護者が体験(任意参加) ・避難所受付, 備用品, 避難スペースなどを確認・体験
		ハイブリッド発電機・特設公衆電話の設置訓練
12:00		意見交換(訓練振り返り, 課題抽出等) 片付け・終了報告
13:15		訓練終了

▼防災教育VR「B-VR(ビーバー)」(東京消防庁)を活用した授業(調和小)



▼煙体験訓練(調布中)



▼避難所体験(避難スペース体験)(北ノ台小)



(4) 参加者数(人)

参加者区分	令和6年度	令和5年度	令和5年度比
学校(教職員, 児童・生徒)	17,216	17,097	119
保護者	12,779	12,002	777
地域	386	319	67
市職員(避難所担当職員・初動要員等)	478	510	▲32
消防・警察職員(消防団員を含む。)	46	31	15
合計	30,905	29,959	946

実施校	令和6年度	実施日
東京都立調布北高等学校	239	4月17日
東京都立調布南高等学校	750	4月24日
東京都立神代高等学校	356	5月1日
明治大学付属明治高等学校・明治中学校	1,465	4月30日
晃華学園中学校高等学校	1,200	5月10日
桐朋女子中学校・高等学校	1,700	5月29日
ドルトン東京学園中等部・高等部	730	4月26日
計	6,440	

◎上記の都立高校・私立学校の参加者数は, 左表に含まれていない。また, 都立・私立学校における取組は, 防災教育の日(4月の第4土曜日)に限らず, 周辺の日程を含めたうえで実施を依頼

2 学校教育活動の取組

【報告書】参照
P72~108

(1) 「命」の授業・防災啓発講話

- ・児童・生徒に命の尊さや「自らの命は自らが守る」意識を高める「命」の授業を実施
- ・調布消防署員・国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所職員による, 地震・水害をテーマにした防災啓発講話(録画)を実施
- ・調布警察署員や東日本大震災の被災地等の講師による, 実体験に基づく防災啓発講話を実施

(2) 避難訓練・引取訓練

- ・全学年が校庭へ避難する避難訓練を実施した。また校庭への整列後, 学校長・副校長から避難訓練についての講評を実施
- ・各学校から保護者宛に「すぐー(調布市学校安全・安心情報配信システム)」を用いて引取訓練を実施

▼VR防災体験車による被災疑似体験(国領小)



▼調布警察職員による防災啓発講話(八雲台小)



▼校庭への避難訓練(神代中)



3 市統一テーマ訓練の実施(避難所開設訓練)

【報告書】参照
P16~19

(1) 訓練概要

- ・市職員と地区協議会等の地域の方との協働により, 令和元年台風19号における避難所開設時の課題を踏まえた訓練を実施
- ・【新規】小6児童・中3生徒及びその保護者を対象に, 受付, 避難スペース, 備蓄品等を体験する「避難所体験」を実施

▼避難所体験(携帯トイレ設置の様子)



▼ハイブリッド発電機模擬設置訓練



(2) 訓練内容

- ・校門等の開錠・施錠方法の確認, 防災備蓄倉庫確認, 防災行政無線送受信訓練, 【新規】避難所体験, 【新規】ハイブリッド発電機模擬設置訓練, 特設公衆電話設置訓練 等

(3) 訓練参加者数 941人(市職員478人・教員77人・地域住民386人)

4 連携・協働の取組

【報告書】参照
P7~12

(1) 調布消防署との連携

- ・参加・体験型の授業講師として, 輪番校として定める4校(第一小, 国領小, 布田小, 調布中)に署員を派遣
- ・地震をテーマに小学校低学年, 中学年, 高学年・中学生向けに分けて作成いただいた防災啓発講話(録画)を, 希望校(8校)において視聴

(2) 調布警察署との連携

- ・防災啓発講話の講師として, 輪番校として定める1校(八雲台小)に署員を派遣

(3) 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所との連携

- ・水害をテーマに小学校低学年, 中学年, 高学年, 中学生向けに分けて作成いただいた防災啓発講話(録画)を, 希望校(16校)において視聴

(4) 【新規】鹿島建設株式会社 技術研究所との連携

- ・水管のリスクや多摩川の特徴についての講義, 水害についてのクイズなどを実施(飛田給小)

(5) 【新規】東日本電信電話株式会社 東京武蔵野支店との連携

- ・災害伝言ダイヤル(171)・災害用伝言版(WEB171)体験, 公衆電話機を使用した操作体験・講義を実施(第二小)

(6) 地域との協働

- ・市立全小・中学校, 大町スポーツ施設において, 地区協議会等の地域の方と協働による訓練を実施

(7) NPO法人調布心身障害児・者親の会, 一般財団法人調布市市民サービス公社との協働

- ・入間地域福祉センターにおいて, 福祉避難所開設訓練を協働で実施

(8) 市内都立・私立学校との連携

- ・東京都立調布北, 調布南, 神代の各高等学校, 明治大学付属明治高等学校・明治中学校, 晃華学園中学校高等学校, 桐朋女子中学校・高等学校, ドルトン東京学園中等部・高等部において, 避難訓練等を実施

(9) 市長部局各部との連携

- ・初動要員, 避難所担当職員, 学校避難所対応職員, 避難所担当管理職員が各小・中学校, 大町スポーツ施設において市統一テーマ訓練「避難所開設訓練」を実施
- ・令和6年度新規採用等の職員が市統一テーマ訓練に参加し, 訓練後には消防大校において地域防災に関する訓練に参加

(10) その他

- ・フードロスの観点や児童・生徒への防災教育の一環として, 防災備蓄倉庫にある今年度入替予定のアルファ米を防災教育の日前後の日程において市立小・中学校全校の給食で提供
- ・第三小学校・深大寺小学校・杉森小学校の児童が, 災害時を想定し, アルファ米の調理体験を実施

5 出された意見の概要

「市職員からの報告」「保護者アンケート」等から多く出された意見を抜粋

【報告書】参照
P20~70

- ・引取り時, 通学路を歩くことで, 実際どれくらい時間がかかるか, 気をつけなければいけない箇所などを認識することができた。
- ・子ども達と防災について話をするいい機会となった。
- ・避難所での備蓄食料の量や, 実際のスペースを具体的に知ることができた。
- ・今回のような訓練は, 地域の方々や学校職員等との顔合わせの機会でもある。災害時に, 「顔を知っている」ことは役立つ。
- ・備蓄倉庫から実際に出て組立を行い, 実際に災害が発生した時の動きを身近に体験できた。
- ・授業で視聴した動画の時間, 内容を見直したほうがよい。
- ・連休の初日となる場合, 実施日を変更してほしい。
- ・防災備蓄倉庫内が暗く, 保管場所がわかりづらい。備蓄品の見やすさ・取り出しやすさを向上してほしい。
- ・避難所担当リーダーの決め方の見直し, サプリリーダーの役割分担を明確化してほしい。当日欠席の職員が多い。
- ・その他, 訓練内容, 事前の研修・説明会, 要配慮者への対応, 避難所利用計画図, 必要備品, 様々な状況を想定したマニュアルの整備 等

課題等の改善に向け, 地域, 関係機関, 庁内関係部署と協働・連携を図り, 検討を進めます。